

ロータスWeb

医療法人北斗会広報

第100号 2008年 6月10日発行

1991年10月創刊しおかげさまで本号で100号を発行することが出来ました。

福祉工場閉鎖のご報告

89年から大阪府で初めて精神障害者の働く場としてスタートした精神障害者授産施設、ロータスアートを経てもっと働きたいという方への場として、2001年9月（実際の開業は12月）、近隣の大きな反対の中、また法人も大きな犠牲を払いながら精神障害者福祉工場、ときヨシをスタートしました。近隣への説明の中、「5年で理解が得られなかったら要求どおり撤退します」と言ってきましたが、「5年で理解者が生まれ、10年で応援団が生まれる」というこれまでの経験的信念のもとで運営してきました。「駅から福祉工場までスタッフがつけ」「一目で精神障害者と分かる服を着せる」などとんでもない要求も突きつけられましたが、その後は大きな反対もなく、運営委員会に反対者の方にも入っていただき、いろいろ模索してきました。積極的な反対者はないものの、理解を示し応援していただき、パン販売、喫茶店利用、弁当利用、印刷利用などの領域で大きな伸びもなく推移しました。運営側の努力も足りなかったのかもしれませんが、それでも近隣に向けてパン食べ放題キャンペーンをしたりもしましたが効果ありませんでした。

働きたいという人々の願いをかなえるべく、

法人では福祉工場の前からも、さわ病院の食養課や施設係や弁当配達（フロイデッセン）そして病院近くの喫茶店でも最低賃金以上を支払う就労の場を用意してきました。福祉工場では毎年の決算報告でも家賃で1100万円（1701万円の建物賃借料の福祉工場按分）、それ以外の部分で1700万円の法人からの繰入金で運営してきました。予算ではなんとかこの赤字を解消すべく、建物を貸して下さっている方に無理をお願いして減額していただき、スタッフも法基準に合わせるようにしてきましたが決算時の赤字は解消されないままで推移し、ずっと法人繰入金で運営がされてきました。家賃は最終的には法人負担を覚悟したものの、それ以外がマイナスでは、診療報酬が2年ごとに下がっている法人運営の中では維持困難として昨年8月に働いている方に9月より最低賃金維持は困難とお話ししました。直ぐに大阪府や労働基準監督署に話を持っていったものの、福祉工場が最低賃金を支払う施設という基準があるからと受入れられず、また完全にやめると最初の補助金1000万円程度を返却しなければならず、3月で新しい自立支援法のもとの就労移行支援事業に移るといいましたが、府は手

続きを進めないため、診療報酬がさらにこの4月から下がり、これまで通りの法人繰り入れは出来ないと考え、法人としては3月31日をもって福祉工場は閉鎖し、次の施設への移行を進めると府に言いました。現在就労中の方には昨年8月に方向性を伝えたものの移行がはっきりしないままで半年以上を経過し、大変心配をかけたことを申し訳なく思っています。また当時反対していた近隣との調整にご尽力いただいた豊中市の福祉のトップの藤沢さん始め多くの理解者にも力なかったことをお詫び申し上げたいと思います。

ただ、先に述べましたように、最低賃金以上で雇用している場もすでに25人分用意しており、このような場をさらに拡大したいと考え、昨年12月に国分病院、木下院長とともに株式会社きびもくを設立したことはすでにお話したと思います。また福祉工場は就労移行支援事業に移る予定ですが、豊中で2ヶ所あるより2つに分けることも考えております。今後も精神障害者の就労には就労の場の用意、就労支援講座の開催、就労支援センターでの支援などこれまでやってきましたことを継続するとともに、さらに勧めていこうと思っております。どうか今後もご理解、ご支援いただきますようお願い致します。

理 事 長

＊ ご意見箱への回答 ＊

Q：(前号の掲載ですが、他の医療施設状況を調べましたのでお知らせします)

もう9年通院しているものですが、先生が度々変わります。今は曜日を決めて通っていますが、他の曜日がどんな先生かわかれば、その曜日に変更してみたいとも思っております。先生の顔写真や経歴、その他簡単なプロフィールなどを掲示できないものでしょうか？

A：他の医療施設の状態を含めて検討してみますが、最終的には訓練を受けた精神科医といえども相性があるようです。医師が変わるのは当院が教育病院であったり、救急病院であるため医師の動きがあるので御不便をお掛けして申しわけありませんが、決まるまでは曜日を変えて何人かの医師を訪ねていただくのも一法です。外来はどの医師を訪れてもいいことにしておりますので。ただし込み具合と、それにより面接に掛けられる時間に差はあるかもしれませんが。

医師の顔写真、プロフィールなどを掲示している病院について大阪府下の精神科の病院4ヶ所で聞いてみました。4ヶ所とも外来での掲示はありませんでした。インターネットでは所属学会等を入れている病院が1ヶ所、顔写真・コメントを入れている病院が1ヶ所ありました。

(管理課)

今後なんらかの形で表示したいと思います。

Q：診察券の名前の上にフリガナをふってほしいです。名前をよくまちがえられて呼ばれるので…よろしくお願いします。

A：大変失礼いたしました。間違いがないようにフリガナを診察券に記載するように対応いたします。ご意見をいただきありがとうございます。ありがとうございました。(情報処理)

Q：病院の玄関のビッグテレビジョンがこわれています。音楽つけて下さいと受付の人に言ったら、なかなかつけてくれず、せんど言うてつけてもらったら、画面はきれいなのですが、音楽がなりません。何のためのビッグテレビなのですか。

A：現在使用しているDVDのソフトの中には映像だけで音楽がないものもあります。ご不明なことがありましたら受付職員にお尋ね下さい。(医事課)

Q：ときヨシの喫茶に行ったら私の時計は五時なのに、その時計は五時五分だった。スバゲティを食べれないと言われた。そんな間違えている時計を見て、仕事したはるのですか。

A：ご指摘ありがとうございました。時報で確認したところ、3分ほど進んでいたのので、すぐに時刻を合わせました。今後、時計の時刻を定期的（月1度）に確認するように致します。また、オーダーストップが16:30というのをお話をさせていただいたのですが、掲示していなかったことをご指摘いただきましたので、掲示するように致しました。（ときヨシ）

Q：玉子かけご飯が食べたいのでどうか玉子（L寸）をお願いします。

A：生の玉子はサルモネラ食中毒発生の原因食品とされています。特にサルモネラの中でもサルモネラ・エンテリティディスに汚染された鶏卵による食中毒が増加しており、生玉子入りのとろろ汁、自家製マヨネーズなど鶏卵を原料とし十分な加熱工程のない食品が原因となっています。そのため当院では生の玉子は献立にはいれておりませんので、ご了承下さい。（食養課）

ご意見

- ・先生は病気をなおすと同時に人に希望と夢を与えていらっしゃると思います。
- ・すぐ診察していただいてありがとうございました。
- ・昨年芝蘭荘から出て1人暮らしをしています。おかげさまで再入院もしていません。入院中は本当にお世話になり感謝しています。主治医の先生もよく話を聞いてくれます。順調でいます。病気に負けないように頑張ります。

* 職員個人について載っているものについては掲載は致しませんが調査又は個々に申し伝えております。

* 意味不明のもの、解読できないものについては割愛させていただきます。ご了承下さい。

統合失調症という病気

M・R

10年目にしていればいつ終わるとも知れずに震えるだけだった恐ろしい統合失調症にもようやく寛解と言われる状態が訪れた。絶望の淵を何度もさ迷い、今、この状態を得て思うことは、自分のこの命を使ってできることは、何なのだろうか？ということです。日常をきちんと過ごすことはもちろん大切ですが、それだけではなく、他の人の命を輝かすお手伝いも、できればよいなと気付いたのです。笑顔になれることを届けること。自分の体験記で人を励ますこと。体験はひるがえると糧になるのだということが、よくわかりました。今、もし苦しい思いをなさっている人がいるなら、試練はご自分を高めるハードルだと考えて、頑張ってください。いつも神はみえています。

* 家族会だより *

家族会20年度勉強会

これまで家族会の運営を一手に引き受け面倒をみてこられた家族会会長の石原さんが4月24日に他界されました。この欄もいつも石原さんが原稿を書かれていたのですが、今回より私が引き継ぐ事となりました。

家族会は平成3年4月に発足し今年で18年を迎えます。 家族の悩みの分かち合い。

体験の交流。 本人への対応の工夫。 レクリエーション。を目的に始めましたが当事者、親双方の高齢化もあり会員数は40～50人が現状です。

平成20年度の家族会行事は5月18日第51回勉強会「統合失調症について」講師は三木先生でした。統合失調症の症状、原因、

遺伝、当事者への対応、抗精神病薬の効果、副作用、開発の歴史。

従来の抗精神病薬と新しい抗精神病薬との違い等大変難しい話をわかりやすく説明、解説していただきました。講演後の質疑応答でも多くの出席者から質問がありそれについても丁寧に答えて頂き有難うございます。

質問は 非定型抗精神病薬への変薬 当事者への対応 親の不安等ですが勉強会を重ねることで家族が正しい新しい知識を得ることで当事者との関係が良い方向に向かうことを切望します。家族を取り巻く環境は複雑且つ多岐に渡り先の見えない状況の中ですが勉強会はこれからも継続したいとの念を強くしました。26人の出席者でした。

記 吉岡

~~ 家族会からのお知らせ ~~

7月より家族懇談の曜日が変わります。これまで、火曜日と土曜日の13:00~15:00グリーンハイツ208号室(家族会室)に家族会の役員が待機し、来室された家族の方に対して相談等を行っておりましたが諸事情により、7月より金曜日の13:00~15:00のみに変更させて頂きますので、ご理解、ご協力お願い申し上げます。

ロータスクラブの日に開催しております家族会勉強会はこれまで通りに行います。

*** ロータスクラブ ***

第12回ワールドフェスティバル

5月度実行委員

5月18日(日)初夏を感じさせるような晴天に恵まれ、第12回ワールドフェスティバルが開催されました。今回は地球環境を考慮し、一部の屋台皿にリユース食器を導入し

ました。屋台は豊中市内の作業所から手作りの小物販売等。他文化からは、チジミ・フィリピン風焼きそば・さわ病院からは、焼きそば・特別餃子とメニューも豊富に設定し売れ行きも好調でした。ステージはプラスバンドから始まり、フラダンス・大学生のソーラン・午後からはバンド演奏やアフリカンダンス等多文化の演奏を含んだ内容で、いずれも会場内は活気にあふれていました。地域の方々も多く来院され、中でも近隣の子供がソーラン踊りに参加したり、地域を含めた交流ができました。

準備や当日は色々不手際もありましたが、皆様の協力で無事終了することができました。ありがとうございました。

*** ロータスクラブの
ご案内 ***

行事予定は次の通りです。
2008. 7. 26(土)
第20回中豊島夏まつり

*** 原稿募集 ***

皆さんからのご投稿は御意見箱にてお待ち致しております。備え付けの「医療法人北斗会へのご意見」用紙にご記入下さい。用紙の下段に掲載のご意向を記入していただいたご投稿についてこの紙面にて回答させていただきます。尚、一つのご意見につき400字以内におさめて下さい。また、多数お寄せ戴いた場合には、順番に掲載させていただきますのでご了承ください。

*****		*****
*	ロータス	医療法人北斗会広報
*	第100号	2008年 6月10日発行
*	発行責任者:	理事長 澤 温
*	編集担当者:	鹿島 裕未
*	印刷所:	ロータスアート 印刷部
*****		*****